



外陰・膣萎縮レーザー治療 MONALISA TOUCH®(モナリザタッチ)

ハンズオンセミナー開催のご案内

外陰・膣萎縮に関連する様々な不快症状が、閉経前後女性の QOL に著しい悪影響を及ぼしているのは周知の事実であり、現在、ホルモン療法をはじめとしていくつかの治療が行われています。昨今、新たな治療の選択肢として、米国 FDA 承認を取得した外陰・膣萎縮レーザー療法が世界中で注目され、各学会にて議論が交わされています。この度、中田真木先生をお招きし、外陰・膣萎縮レーザー療法のメカニズム、その評価と可能性、世界事情などについて、実演を交えながらご講演いただきます。新しい治療法の情報収集の場として是非お越しく下さい。

MonaLisa Touch®

膣のアンチエイジング

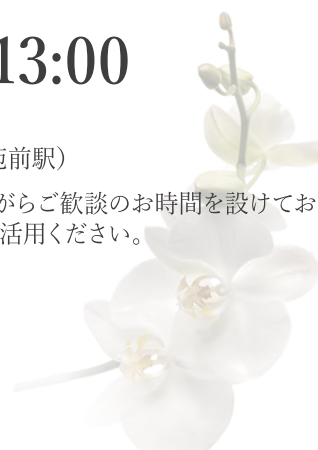
モナリザタッチ公式サイト
monalisa-touch.com



日時： 12月6日(日) 11:00 ~ 13:00

場所： 株式会社 DEKA JAPAN 本社
東京都港区南青山 2-21-37(地下鉄銀座線外苑前駅)

※セミナー終了後に、ご昼食をお召し上がりながらご歓談のお時間を設けております。先生方同士の情報交換の場としてご活用ください。



講演 中田 真木 先生 (三井記念病院産婦人科医長)

歯周病をほっておくと舌が痛くなることがあるのと同じように、膣内環境の維持は、快適なフェミニンゾーンを維持するための重要な要素です。閉経後膣炎の治療にはしばしばエストロゲン製剤が使われますが、炎症や汚染の原因を手入れせずにエストロゲンを投与すると、反応性に分泌物が増加し、かえって QOL が低下してしまうことさえあります。新世代のテクノロジーによる膣壁のリノベーションと快適なフェミニンゾーンのための行動療法についてお話しします。

※ご講演後、モナリザタッチのハンズオン実演を行います。

【ご経歴】三井記念病院産婦人科医長。産婦人科専門医、女性医学学会認定医。東京大学卒、仏政府給費留学生(パリ第5大学)、専門はウロギネコロジー。女性のフェミニンゾーンのケアについて多くの提言あり。2002年4月より現職。

【セミナー会場案内図】



外苑前駅 1b 出口を出て 2 つ目のたばこ自動販売機の角を右折して突きあたりの建物です。

参加申込書

セミナーに参加希望

資料のみ希望

ご施設名	フリガナ	参加者お名前	
ご住所	〒	TEL	
		E-mail	

↑ FAX: 03-5785-2166



株式会社 DEKA JAPAN
〒107-0062 東京都港区南青山 2-21-37
TEL: 03-5785-2133 Mail: info@dekajapan.jp
http://www.dekajapan.jp